

慢性腎不全



松阪市マスコットキャラクター
「ちやちやも」
作成：医事課

<病気について>

腎臓では、体液から代謝老廃物を排泄する機能や水分量の調整、ホルモン様物質の合成など様々な機能を持っています。腎臓の機能が低下して正常に働かなくなった状態を**腎不全**といいます。

腎不全は大きく**急性腎不全**と**慢性腎不全**の二種に大別できます。

以下では慢性腎不全について詳しく説明します。

<症状>

慢性の腎臓病が徐々に悪化して腎機能が低下していきます。

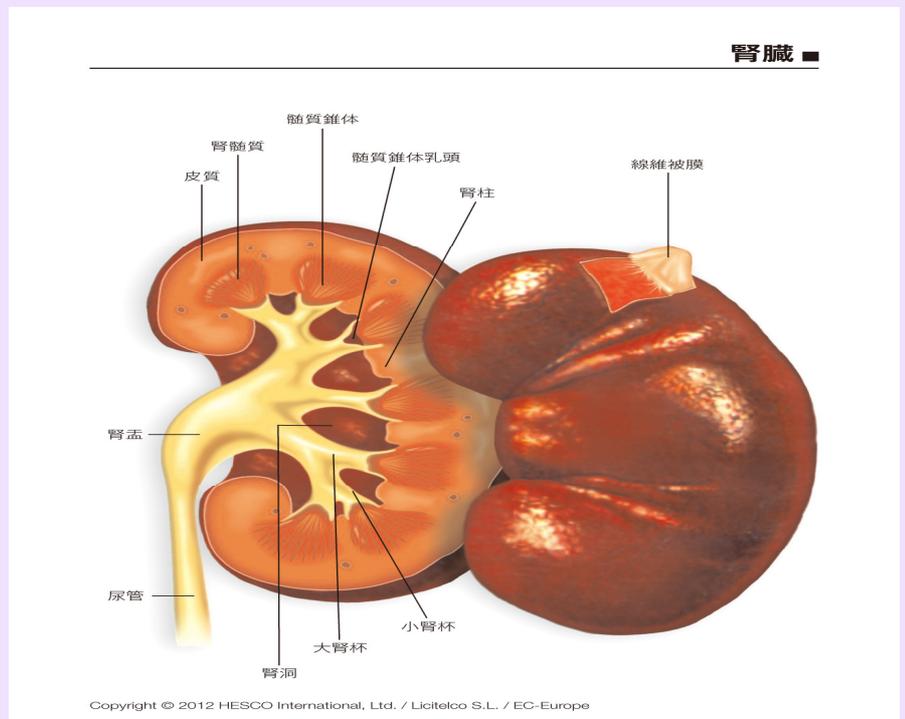
腎臓が尿を作って老廃物、水分、電解質などを排泄することで、体の中の恒常性が保たれているため、この機能がうまく働かなくなると、様々な症状が起きてきます。

たんぱく尿や血尿、排泄機能低下による**尿毒症**が現れます。本来なら尿の中に排泄される**尿毒素**（老廃物）が体内に蓄積されると、疲労感、食欲不振、吐気、頭痛、けいれん、意識障害などの症状が起こります。

慢性腎不全は何年もかかって腎臓の機能が低下していくので、腎臓が障害される程度によって症状の出方、治療法も異なります。

<検査>

慢性の腎臓病の多くは、かなり進行するまで特に自覚症状がないため気づかないうちに悪化します。症状が出ないうちは健康診断の尿検査、血液検査で見られることが多いので、きちんと健康診断を受けることが大切です。



<治療>

慢性腎不全は治療によって治るということはありません。

腎不全が進行していくと最終的には腎臓の機能が極度に低下して透析が必要になります。（体の血液を浄化する働きを腎臓に代わって行う人工的な方法が透析です。）

血液透析では血管に針を刺して血液を持続的に取り出す必要がありますが、針の刺しやすい静脈は血流が弱く、透析を行うのに必要な血液量を取り出せません。そこで、動脈と静脈をつなぎ合わせて、動脈の強い流れの血液を一部静脈に流すことで、透析に必要な血液を静脈から取り出せるようにします。このような、動脈から静脈へ直接血液が流れる通り道をシャントと呼び、通常は手首の付近につくります。（**内シャント設置術**）

自己の静脈が細い場合、動脈との位置関係で適当な静脈がない場合は、人工血管を使用することもあります。（**血管移植術、バイパス移植術**）



<入院費～概算～>

内シャント設置術 2日間	1割負担の場合	27,000円
	3割負担の場合	81,000円
血管移植術、バイパス移植術（人工血管） 9日間	1割負担の場合	44,400円（上限）
	3割負担の場合	225,000円

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

<平成28年度当院データ>

・年間症例数	内シャント設置術	17件
	血管移植術、バイパス移植術	30件

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、
医事課までお気軽にお尋ね下さい。